

目次

平成 21 年度 環境の状況
平成 21 年度 循環型社会の形成の状況
平成 21 年度 生物の多様性の状況

第 1 部

総合的な施策等に関する報告



序章

地球の行方

－世界はどこに向かっているのか、日本
はどういう状況か－

- 1 地球に生まれた人類……………2
- 2 世界のトレンド概観……………2



第 1 章

地球とわが国の環境の現状

- 1 地球温暖化の状況……………9
- 2 地球環境、大気環境、水環境及び
土壌環境の状況……………10
- 3 廃棄物の発生等に関する状況……………12
- 4 化学物質と環境リスクの状況……………13
- 5 生物多様性の状況……………14



第 2 章

地球温暖化にいち早く対応す る現在世代の責任

－チャレンジ25－

- 第 1 節 増加する地球温暖化の被害……………16
 - 1 現在生じている被害……………16
 - 2 将来予測される被害……………17
 - 3 必要な対応策……………17
- 第 2 節 地球温暖化対策による経済上の効果……………18
- 第 3 節 地球温暖化に対する世界の動き……………19
- 第 4 節 チャレンジ25という将来世代への約束……………20
 - 1 チャレンジ25を実現する国全体の制度……………20
 - 2 チャレンジ25につながるさまざまな主体の取組……………23
 - 3 温室効果ガスの排出が削減された
将来世代の暮らし……………25



第3章 生物多様性の危機と私たちの暮らし —未来につなぐ地球のいのち—

第1節 加速する生物多様性の損失	27
1 急速に失われる地球上の生物多様性	27
2 生物多様性の損失と私たちの暮らしとの関係	28
3 生態系サービスの劣化による経済的損失	28
第2節 生物多様性と地球温暖化	30
1 地球温暖化による生物多様性への影響	30
2 生物多様性の保全と地球温暖化対策は車の両輪	30
第3節 生物多様性に配慮した社会経済への転換 (生物多様性の主流化)	31
1 生物多様性とビジネス	31
2 都市と生物多様性	32
3 生物多様性に配慮したライフスタイル	32
第4節 地球のいのちの行方を決める生物多様性 条約第10回締約国会議 (COP10)	33
1 大きな転換期を迎えた国際社会	33
2 2010年と生物多様性条約COP10の意義	34
3 議長国としての日本の責任	34
4 世界へ広げる自然共生の知恵と心	37



第4章 水の星地球 —美しい水を将来へ—

第1節 地球とわが国の水環境の状況	39
1 地球上の水	39
2 地球温暖化の影響	39
3 水を起因とするさまざまな問題	40
4 日本の水需要の現状	42

第2節 水問題解決に向けた取組	43
1 水資源の利用における問題点	43
2 水問題解決に向けた国際的な目標や取組	43
3 日本における取組・対応策	45
第3節 世界への貢献と水ビジネス	47
1 世界における水ビジネスの現状	47
2 日本が世界にできること	47
3 日本の技術力	48



第5章 環境産業が牽引する新しい経済社会 —グリーン・イノベーションによる新たな成長—

第1節 環境産業の現状	49
1 わが国、世界で拡大する環境産業	49
2 わが国の環境産業の強み	49
第2節 持続的な経済社会活動に向けた循環型 社会ビジネス	50
1 拡大する循環型社会ビジネス	50
2 ビジネスにおける循環型社会に向けた取組	52
第3節 経済社会システムを変える環境技術・環境 産業	56
1 わが国のすぐれた環境技術	56
2 環境産業へ向かう金融の流れ	56
第4節 地球環境と経済社会活動	58
1 環境政策によるグリーン・イノベーションの促進	58
2 地球環境を考慮した新たな経済発展の考え方	60
むすび	63

第2部

各分野の施策等に関する報告

平成22年度 環境の保全に関する施策

平成22年度 循環型社会の形成に関する施策

平成22年度 生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策